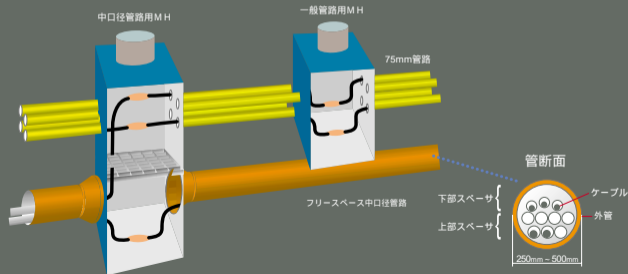


## フリースペース中口径管路

Free-space middle-diameter conduit introduced in 1999

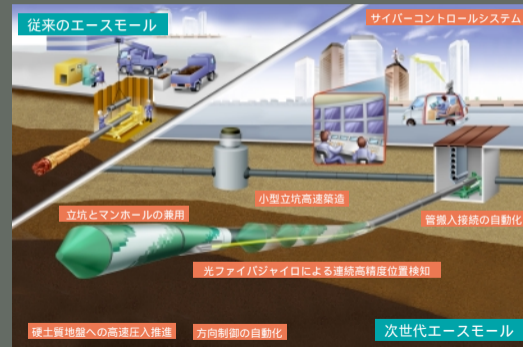
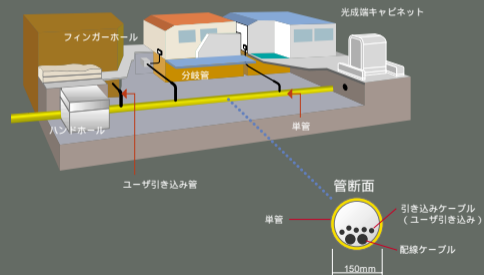
1999年に導入したフリースペース中口径管路は、単管化によるケーブル収容率の向上、ケーブル・スペースの布設技術の高度化による管サイズのコンパクト化、地盤と施工方法に応じた管路のメニュー化などによって、設備のコストダウンを実現している。また、中空化によって、需要・ケーブル仕様・配線法などの変更にも柔軟に対応できるようになった。



## フリーアクセス(単管)方式

Free-access (single conduit) system introduced in 1999

1999年に導入したフリーアクセス(単管)方式では、引き込み管の単管からの直接分岐、配線・引き込みケーブルの多条布設、掘削幅の縮小などの技術を用いている。その結果、光ケーブルの収容に適した地下配線の設備の構築において、コストダウンを実現している。



## 次世代エースモール

Next-generation ACEMOLE system

次世代エースモールは、土木技術、機械技術、センシング技術、情報通信・処理技術、材料技術などの最先端の技術を融合させて、推進の高速化、オペレーションの自動化、立坑のコンパクト化を図った全く新しい非開削推進技術である。管路工事の完全な非開削化による経済化を目指して開発に取り組んでいる。

### サイバーコントロールシステム

Cyber control system

先端マシンの推進制御に関する熟練オペレータのノウハウや知識を集積したDBシステムを活用して、施工データ、映像、音声の双方向リアルタイム通信による現場工事支援を実現したシステムである。